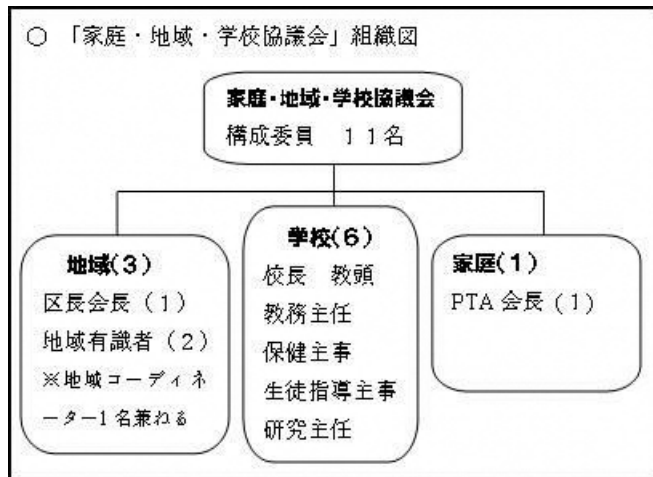


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

開催回数 年間3回

開催日程 第1回 5月10日  
第2回 1月17日  
第3回 1月27日

(9月14日 体育大会 中間報告)

#### 協議内容

- ・学校の経営方針や学校評価に関することについて
- ・教育活動や児童の登下校の安全確保等について
- ・家庭・地域との連携協力について

### (3) 協議会における成果と課題

昨年度は、4回行っていたが、連絡を密にすることによって、会議自体は3回に減らすことができた。毎回、学校側に好意的に接して下さるので、和やかな会であるが、その中でも新たな、広い視点からの意見が聞くことができた。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

- ・作物栽培、販売活動、情宣活動を通して、地域の「人」や「物」と積極的に関わり、郷土の良さを発見させることで、郷土への愛着心を育てる。
- ・自分たちの活動が認められることによって自己有用感を育てる。

### (2) 活動の実際

#### ①野菜をつくろう！

1. 2年生が生活科の学習と関連づけて、ミニトマト、キュウリ、なす、ピーマンなどの野菜を育て、収穫し、販売した。

「祖父母の会」の27名の祖父母の方は、畝作りや猪よけの電気柵設置をして下さったり、進んで草刈りもして下さった。児童と一緒に苗植えや収穫を行い、共に活動することを楽しまれていた。柵やネットなどの後片付けもしていただいた。

児童は、その後、のぼり旗やポスターを作成し「あさひまつり」や「泰澄の杜」で野菜の無人販売を行った。



## ②古代米をつくろう！

3. 4年が総合的な学習の中で古代米をつくり、販売した。

「小倉福寿会」の協力の下、苗の植え方を教えてもらい苗植えを行った。また、多くの収穫を期待して、案山子づくりを行う際には、必要な材料を持ってきてくださり、作り方を教えてくださった。収穫時には鎌での稲刈りの仕方を教えてくださり、また、足踏みの脱穀機も使わせていただいた。



児童は、収穫した古代米を全校児童に分けたり、「泰澄の杜」で販売したりした。11月には町の文化祭で活動内容を発表した。

## ③エコキャンドルをつくろう！

5, 6年が地域の「糸生エコキャンドル」に向けて、廃油を集めてエコキャンドルを製作した。地域コーディネーターに作り方を教わり、地域に対する熱い思いを聞かせていただいた。児童は、廃油提供を呼びかけるチラシやポスターを作ったり、キャンドルアートのデザインを考えたりした。残念ながら、雨のため「糸生エコキャンドル」で点火することはできなかったが、地域を巻き込んだの活動をする事ができた。



### (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・この事業の趣旨を良く理解しておられ、本校でできそうな取組案を次々と提示してくださいました。また、相談すると親身になって考えてくださった。
- ・広報に長けていらっしゃる、新聞やテレビ取材の連絡、調整を行ってくださいました。
- ・常に児童の良いところを見つけ、褒めてくださいました。

### (4) 特に工夫した事項

- ・協力してくださった方や児童が、お互いに満足感がもてるような活動にする。
- ・活動してきたことが「新聞」や「町文化祭発表」などによって、広報され、さらに、地域の理解・協力を得るようにする。
- ・「生活科」や「総合的な学習」と関連づけて、教育課程に無理な活動にならないようにする。

### (5) 成果と課題

どの活動も、地域の方の熱心な協力のおかげで、児童がとても満足する活動になった。それは、地域の方が愛情をもって接してくださり、「がんばっているね！」などの温かい声を掛けてくださるからだと考える。また、新聞などに活動が掲載されると「糸生小学校はがんばっているな。」という声が糸生地区外からも聞くことができた。

このように、自分たちの活動が認められることによって、児童は自己有用感を高めていった。

糸生で育った力が、今後、中学校へつながっていくこと、また、大人になった時の基盤になることを期待している。